

2022 年 7 月 31 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒281 番（旧 110 番）（KH 姉）

『御顔拝し』

聖書⇒ルカによる福音書 14:15~24 編（MM 姉）

『食事を共にしていた客の一人は、これを聞いてイエスに、「神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう」と言った。そこで、イエスは言われた。「ある人が盛大な宴会を催そうとして、大勢の人を招き、宴会の時刻になったので、僕を送り、招いておいた人々に、『もう用意ができましたから、おいでください』と言わせた。すると皆、次々に断った。最初の人、『畑を買ったので、見に行かねばなりません。どうか、失礼させてください』と言った。ほかの人、『牛を二頭ずつ五組買ったので、それを調べに行くところです。どうか、失礼させてください』と言った。また別の人は、『妻を迎えたばかりなので、行くことができません』と言った。僕は帰って、このことを主人に報告した。すると、家の主人は怒って、僕に言った。『急いで町の広場や路地へ出て行き、貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の不自由な人をここに連れて来なさい。』やがて、僕が、『御主人様、仰せのとおりにいたしました。まだ席があります』と言うと、主人は言った。『通りや小道に出て行き、無理にでも人々を連れて来て、この家をいっぱいにつくれ。言っておくが、あの招かれた人たちの中で、わたしの食事を味わう者は一人もいない。』』

礼拝讃美歌⇒461 番（旧 128 番詞）

『聞けおとずれ』

聖書⇒詩編 23 編（HT 姉）

『【賛歌。ダビデの詩。】主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴い

魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖／それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても／あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ／わたしの杯を溢れさせてくださる。

命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。』

礼拝讃美歌⇒329 番（旧 90 番 A）

『主はわが飼い主』

《パン裂き》

聖書⇒マルコによる福音書 15:37~39 節 (KH 兄)

『しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。百人隊長がイエスの方を向いて、そばに立っていた。そして、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、
「本当に、この人は神の子だった」と言った。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 10:19~20 節

『それで、兄弟たち、わたしたちは、イエスの血によって聖所に入れると確信しています。イエスは、垂れ幕、つまり、御自分の肉を通して、新しい生きた道をわたしたちのために開いてくださったのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒156 番 (旧 169 番)

『幕は裂け』

《建徳》

聖書⇒創世記 3:1~7 節 (KH 兄)

『主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」女は蛇に答えた。「わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、触れてもいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。」蛇は女に言った。「決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。」女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 6:10~12 節

『最後に言う。主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 12:7~11 節

『さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。竜とその使いたちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった。この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。地上に投げ落とされたのである。』

その使いたちも、もろともに投げ落とされた。わたしは、天で大きな声が次のように言うのを、聞いた。「今や、我々の神の救いと力と支配が現れた。神のメシアの權威が現れた。我々の兄弟たちを告発する者、／昼も夜も我々の神の御前で彼らを告発する者が、／投げ落とされたからである。兄弟たちは、小羊の血と／自分たちの証しの言葉とで、／彼に打ち勝った。彼らは、死に至るまで命を惜しなかった。』

聖書⇒ペトロの手紙一 4:10~11b 節 (TM 兄)

『あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。』

聖書⇒ペトロの手紙一 4:7~8a 節

『万物の終わりが迫っています。だから、思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈りなさい。何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 12:9 節

『すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 5:15~17 節

『愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。』

聖書⇒コロサイの信徒への手紙 3:12~14 節

『あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。』

礼拝讃美歌⇒302 番 (旧 122 番 B)

『世の力強く』

《建徳要旨》